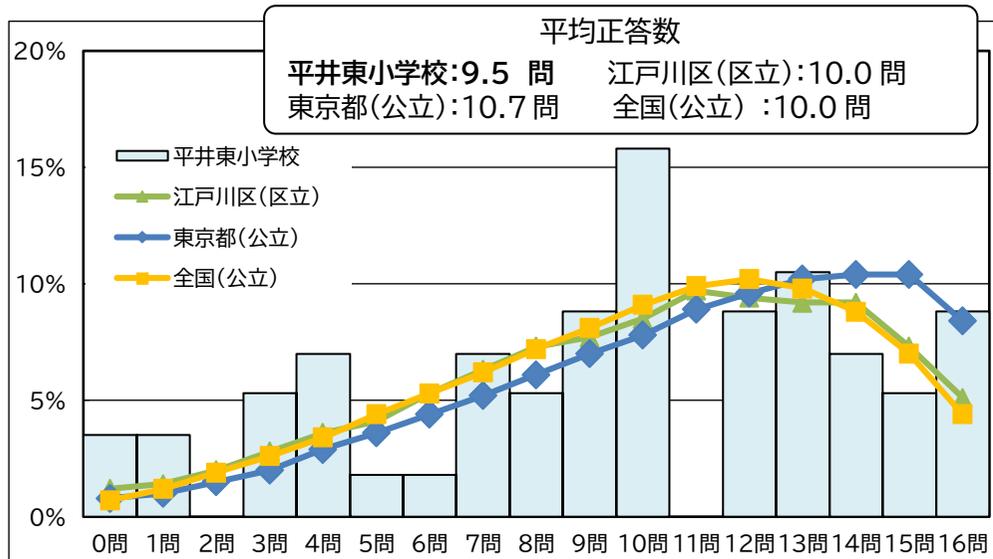


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 平井東小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

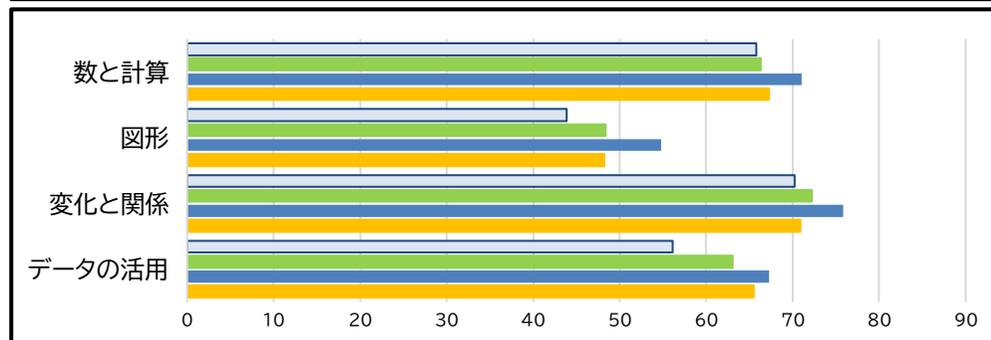
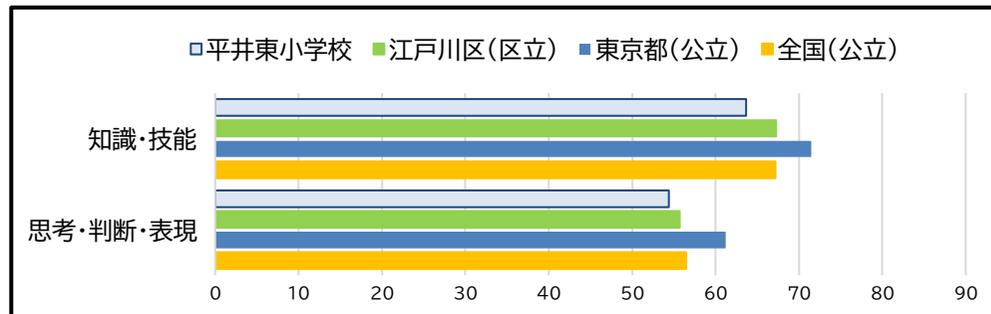
算数	上位 ← 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
平井東小学校	21.1	19.3	29.9	29.9
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

【平均正答率の差】

平井東小学校	60%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	7ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答数は、9.5問であり、東京都の平均と比較すると1.2ポイント低い。四分位における割合は、B層が少なく、C層が多い。正答数10問の児童が多いという分布となっている。

授業改善に向けては、知識・技能面では、ミライシードのドリルや東京ベーシックドリルを活用し、下学年の学習も繰り返し、基礎・基本の定着を図る。思考・判断・表現の面は、算数の学習では、江戸川区授業スタンダードに基づいた授業展開を行う。また、児童が自分の考えをもち、その考えを共有しながら学びを深められる指導を行う。